

6月25日、6月定例会議が終わりました。この議会で安田とも子市議は、国が進める子育て新支援制度や集团的自衛権行使容認について、また学校給食食用牛乳の今後について、市長や教育長の見解を問いました。市民団体からの請願・陳情に応え、「憲法解釈による集团的自衛権行使容認に反対する意見書」、「年金の引き下げに反対する意見書」、「医療・介護改悪法の廃止を求める意見書」などが、賛成多数で可決されました。定例会議と安田とも子市議は、意見書の可決に向け、他会派と共同し力を尽くしました。

保育水準を悪化させないように

安田とも子市議

境港市では、昨年度中に市内の子育て世帯に二ス調査を実施、今年3月第一回子ども子育て会議を開催。しかし、国の制度設計の遅れが原因し、二ス調査の分析、検討、子育て支援計画や必要な条例の策定も、他市と同様遅れているのが現状です。

変厳しいが、実施の延期を求め考えはない。

安田とも子市議 適切な人員配置も要望しておく。

保育士の配置の改善、保護者負担の軽減等、現行の単県補助事業の継続を県に求めることが必要では。

中村勝治市長 県も引き続き補助する考えのようで、市や保護者の負担増にならないよう協議をしていきたい。

安田とも子市議 どの保育施設でも保育料に差が生じないように、また、保育者全員が有資格者になるよう規定をしてほしい。

現行の保育料を維持する

中村勝治市長 現行の保育料を維持し、大きな差が生じないように努める。

保育基準はクリアしているが、全国的に保育士が不足しており、昼寝の見守り等は、保育士資格がなくても勤務していただいている。

有資格者での保育をおこなう

浜田壮福祉保健部長 保育補助でも有資格者が望ましく、求人しているが、残念ながら不足している。今後も有資

格者での保育をおこないたい。保育の基盤は保育所、幼稚園、認定こども園といった施設型保育だが、地域型保育についても計画あるいは条例に位置づけ、体制を整える。

安田とも子市議 障害児や虐待児など、特別に配慮を要する子どもについて、市の基準に優先入所と明記してはどうか。

配慮の必要な子どもの優先入所も明記する

中村勝治市長 国の基準にも、ひとり親家庭、虐待やDV、障害など社会的養護が必要な場合、優先利用の具体例として上がっている。本市でもこれまでも同様に、配慮すべき事項として明記したい。

安田市議 集团的自衛権でも質疑

境港の自衛隊員も海外へ：市長も、国へ反対の声を

安田とも子市議 憲法順守を誓った行政政府として、一内閣による憲法解釈の変更には反対すべきだ。境港に住む自衛隊員も海外へ派遣される。市民の命と暮らしを守るため、行使容認に反対意思の表明を。

国政の場で議論 意思表示はしない

中村勝治市長 我が国の安全保障の根幹とも言える重要なもので、国政の場で十分に議論されるべき。市として賛否の意思表示を行う考えはない。

解釈変更による集团的自衛権の行使容認に反対する意見書

これまで、歴代の自民党政権は、「集团的自衛権の行使は、憲法の許容する自衛権の範囲を超えるものであって許されない」との見解を堅持してきた。

安倍内閣は、厳格な憲法改正の手続きを省略し、私的諮問機関からの報告書の提出を受けて、これまでの憲法解釈を閣議決定で容易に変更し、集团的自衛権の行使を認めようとしている。

時の内閣の一存で憲法の内容が変わることになり、憲法は最高法規性を失い、一片の法律と同じになってしまうものである。

多くの国民は、こうしたことが海外での武力行使に繋がることになり、他国の戦争に巻き込まれるのではないかと懸念と不安を抱いている。

恒久平和主義、平和的生存権の保障、戦争の放棄は日本国憲法の基本原理であり、時の内閣の解釈によって憲法解釈を変更することは、憲法によって権力の行使を規制する立憲主義に反し、到底許されるものではない。

よって、国におかれては、憲法解釈変更による集团的自衛権の行使を容認しないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

6月市議会では、上記意見書及び「さらなる年金削減に反対する意見書」、「医療・介護改悪法の廃止を求める意見書」を賛成多数で可決しました。本会議での賛否はいずれも下記の通りです。(敬称略)

【賛成】 定岡敏行、安田とも子(共産)、松本熙(無所属)、浜田一哉、景山憲、平松謙治、岡空研二、柗康弘、浜田佳尚(きょうどう)

【反対】 佐名木知信、永井章、荒井秀行、築谷敏雄(港みらい)、田口俊介、足田法行(公明)

(※) 米村一三議員は議長のため採決に参加していません。

市民の声をうけとめ 安倍政権の暴走に、「待った！」の意見書次々

境港市議



子ども新制 子育てで

中港CATVより

12月議会で**定岡敏行市議**が、可燃物の徹底した分別をよびかけ、中村市長が「大いにやりましょう」としていました。

軟プラの分別開始

その第一弾が始まります。市は6月議会に、「1月から軟質プラスチックの分別を始める」との方針を固め、関係する条例が提案され全会一致で可決されました。

市民に50ℓ20円の専用の指定袋を使ってもらい、分別収集するもの。市はこれを固形燃料の材料として資源化するとしています。



写真は定岡市議が3月に自宅で、可燃物のうち軟プラだけ分けてみたもの。可燃物が半減します。分別すれば市民もゴミ袋代を安くすることができます。

布類の手数料引き下げも

あわせて市は、布類の分別促進のため、清掃センターに持ち込む分の処理手数料を、これまでの10kg170円を100円に引き下げます。

動きだしました 可燃物のさらなる分別、資源化

安田とも子市議は、一般質問で「食育と地産地消によって大事なこと」とし、教育長に経過説明と今後の対応について考えを求めました。
佐々木邦広教育長は、「県は農水省に県内業者の牛乳を提供できるように補助制度の改正を求めた。
食育推進の観点からも地産地消は大切。保護者負担も極力増えないよう、今後の情勢を見守りたい」と答えました。

検診の個人負担を大幅引き下げ 一境港市

市は健康診断受診を促進するため、これまで県内4市の中で一番高かった個人負担金を大幅に引き下げます。

例えば、70歳以下の女性がすべてのがん検診を個別受診で受けた場合、これまで10,200円必要でしたが、5,300円で済むことになります。

病気は早期発見、早期治療が一番です。これを機会に全員受診を心がけましょう。

8月1日以降の受診分から適用されます。

お詫びと訂正

『3月議会報告』で、70歳以上の人や心身障がい者、機能回復訓練の人の使用料について、「市民プールや体育館の使用料が4月1日から無料になりました」と書きましたが、市民体育館の減免については「**小体育館室のみ**」が正確でした。お詫びし訂正します。



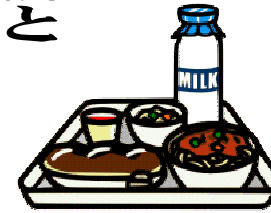
どの会場にも
安田、定岡両市議が参加します。

6月市議会 報告会

- 外江公民館 7月14日(月)午後 7時30分～
- 渡公民館 7月16日(水)午後 2時～
- 誠道公民館 7月25日(金)午後 2時～
- 新屋会館 7月28日(月)午後 2時～
- 境公民館 7月29日(火)午後 2時～

地産地消と食育推進の立場で

安田とも子市議



学校給食用牛乳

学校給食用牛乳は、入札制度があっても、これまでずっと、県内産牛乳が使われていたが、今年、県外事業者が落札していました。「味が変わった」という子どもの声から、共産党県議、米子市議が指摘し、県知事も来春からは県内産の提供ができるように、国に求めました。
この問題で...

放射能が漏れた条件下の推計がないのはなぜ？

避難時間推計

市は6月市議会で、5月30日に鳥取県が公表した「原子力災害時の避難時間推計」を報告しました。
指示してから30K圏外に、すべての住民が避難するのに、段階的に避難すれば27時間50分で避難できるといふもので、これがいまの『広域避難計画』の元になっています。

定岡敏行市議 何通りもの推計をしたというが、全部「放射性物質が放出されていない」という前提だ。なぜ、「放射能が漏れ出した」という条件下で推計しないのか。
担当課長 県に確認してみる。

すべてが「放射能が漏れていない」前提の推計...これで済むのでしょうか？

共産党市議団が主催し、下記講演会を開きます。市の「説明会」もおこなわれています。地域の大事な問題です。両方とも参加し、しっかり考えあいましょ。

上岡直見講演会

環境経済研究所代表、法政大非常勤講師
交通工学が専門で、『原発 避難計画の検証』(合同出版)など著書多数

7月27日(日)
午後2時～4時

境港市民会館
2階大会議室(参加無料)

主催 ■ 日本共産党境港市議団

避難計画で私たちの命は守れるか

